

令和5年3月1日

後輩の今後の活躍に期待

普通科ビジネスコース
33H 新保 瑠菜
北辰中学校出身
商業部

私は、昔から勉強をすることが嫌いで、面倒くさい事はやらなかったことがたくさんありました。私は卒業後に就職するつもりだったので、ビジネスコースに入りました。最初は5冠を目指すつもりも一切なかったのですが、初めて1級をとった時すごく嬉しくなり、そのままたくさんとれたらいいなと思い、検定を受けてきました。

1級の勉強をはじめた頃、問題も解説も内容も何を言っているのか全くわかりませんでした。私が唯一できるのは、小さい頃からやっていたそろばんだけでした。その他は勉強も暗記も苦手なので、すごく苦労しました。もうやりたくないとは何度も思いました。いくつか検定に落ちた時も、もう諦めようかなと思っていました。それでも、先生が問題を解くコツを教えてくれたり、先に受かっていた友達が根気強く教えてくれたりしたおかげでなんとか5冠を取ることができました。友達や先生にはとても感謝しています。

勉強することが嫌いでも、覚えることが苦手でも、何か一つだけでも目標を持って取り組むことで達成できることもあるんだと思いました。最初のうちは1問解けただけで満足していましたが、段々と「もうちょっと頑張ってみよう」と思うようになり、それから少しずつ解ける問題を増やしていきました。そうすると、ちょっとずつ問題を解くことが楽しくなり、モチベーションも上がっていきました。

せっかくの高校生活をなにもしないでもなんとなく過ごすより、普段はしないようなことにチャレンジしてみたり、自分の苦手なことをほんの少しだけでもやってみたりしてみてください。思っているより楽しくできるかもしれないです。自分にはできないと思わないで、最後まで頑張ってみてください！私が5冠達成したので、次は6冠ですね！応援しています！

・進路先：株式会社金沢村田製作所

・資格検定試験取得級（5冠）

全商ビジネス計算実務検定	（電卓）	1級
全商ビジネス計算実務検定	（珠算）	1級
全商ビジネス文書実務検定		1級
全商情報処理検定（ビジネス情報部門）		1級
全商商業経済検定		1級

令和5年3月1日

君ならできる！

普通科ビジネスコース
33H 中島 七海
鶴来中学校出身
ジャズバンド部・商業部

私が高校に入学したときは、私よりも成績が良い人はたくさんいました。特にクラス上位を目指していたわけではなかったので1年間は勉強もそこまでせずだらだらと過ごしていました。そして高校入学の時から就職すると決めていたので2年からはビジネスコースに進みました。勉強は好きではありませんでしたが、検定勉強だけは楽しく感じました。3級から順番に級があがって難易度もだんだん上がっていきました。楽しく感じることも少なくなり、そのなかでも唯一最後まで楽しく勉強できたのは全商ビジネス計算実務検定です。普段電卓をさわる機会はほとんどなく検定合格を目指すために勉強し始めました。普通計算は頭を使うことなくひたすら正確に打つだけでした。正確に打つだけだから簡単だと思ってました。しかし、限られた時間のなかでたくさんの量の計算をしなければならなかったため、焦ってしまいなかなかうまくいきませんでした。コツをつかんでからはだいぶ落ち着いてできるようになりました。ビジネス計算では利息の計算などの簡単な問題からだんだん難しい問題になっていきましたが、何度も反復練習しました。そして、解ける問題が増えていき自分でもできるんだと感じ合格に向けてさらに勉強し、無事1級に合格することができました。

私が初めて1級に合格したとき、そこで4冠を目指してみようかと思いました。先生も私ならできると言ってくださいました。そして頑張った結果、順調にビジネス文書実務検定と情報処理検定のビジネス情報部門の1級に合格できました。9月の時点で3冠をとることができ2月の商業経済検定まで時間があるなと思っていたときに、先生に「他の検定もしてみないか」と言われました。そこで私は、今まで頑張ってきたしできるところまでやってみようと思い新しい検定を受験することに決めました。良い結果にはなりませんが学んだことに後悔はないです。

これから2年生は本格的に進路に向かって動き始めると思います。もちろん嫌なこともあるはずですが、それでも、今まで自分のしてきたことを信じ、夢に向かって頑張ってください。

・進路先：E I Z O株式会社

・資格検定試験取得級（4冠）

全商ビジネス計算実務検定（電卓） 1級

全商ビジネス文書実務検定 1級

全商情報処理検定（ビジネス情報部門） 1級

全商商業経済検定 1級

令和5年3月1日

ネットの力は偉大

普通科特進文系コース

31H 炭谷 駿悟

北辰中学校出身

商業部

私はもともとバドミントン部でサボり過ぎて部に所属していることが認められなくなりました。その時の副顧問の先生に「商業部に入ってみない？」って言われて自分は「いいですね！」って軽く返事して2年生の後期に転部しました。

最初はタイピングが苦手で10分間で300文字ぐらいしか打てなく、検定は取れても3級ぐらいかなって思っていました。その頃ちょうど自分は特進クラスで進路は就職をするつもりでした。そして、履歴書でなんかすごそうな検定を書いていい企業に就職してやると思い、最初に商業経済検定のマーケティングを受けてみました。特進クラスだったので検定の期間内に模試テストがあったりと忙しかったですが、寝る前に「Quizlet」というサイトのマーケティングの用語集を5分ぐらい見たり、塵も積もれば山となるで勉強しました。その結果、安定して90点以上は模擬で取れるようになり検定にも無事合格しました。3年生になって担任の先生が3冠目指すなら模試テストを免除という話があり、3冠を目標として頑張るようになりました。毎日継続してタイピング練習を行い、10分間で720文字打てるようになりました。しかし、検定本番では緊張して全く打てませんでした。その時私は、ビジネス文書実務検定の速度部門の2級とビジネス計算実務検定の2級、情報処理検定のビジネス情報部門の1級までしか持っていませんでした。その時、商業部の顧問の先生が情報処理検定のプログラミング部門の検定を受けてみないって勧めてくれました。しかし、プログラミングの知識がある人が周りに全くいなくて何をすればいいのかわからないという壁にあたりました。そこでネットの知識に頼りました。ユーチューブでプログラミングを詳しく解説している人がいて知識を得て検定に合格することができました。目標である3冠を取ることができてよかったです。

最後にアドバイスでネットの力は偉大でどれだけ有効活用できるかで検定に受かる確率は大きく変わります(たぶん)。「Quizlet」というサイトが商業経済検定の1級を取るのに有効的なのでぜひ使用してみてください！

・進路先：小松マテーレ株式会社

・資格検定試験取得級（3冠）

全商情報処理検定（ビジネス情報部門） 1級

全商情報処理検定（プログラミング部門） 1級

全商商業経済検定 1級

令和5年3月1日

三冠

普通科ビジネスコース
33H 中野 夏芽
北辰中学校出身
ジャズバンド部・商業部

「幸せ」これは検定を2年間やりきった後の私の気持ち。

私は小学校の頃からパソコンで文字を打つ事が苦手でした。就職希望だったのでビジネスコースを選択し、そこで商業の検定があると知りパソコンが苦手な私はやっていけるのかと不安になりました。しかし、3冠・4冠をとっている先輩方のメッセージを拝見して、最初は苦手で大変な事もあったが努力をして結果を残したと知り、私も先輩方のように頑張っていこうと勇気を貰いました。

2級までは問題を正解することが嬉しくなり合格できたのですが、1級は難しさがこれまでと違い自主的な学習などが必要となってきました。私は元々勉強が得意ではないため、投げ出したいと思う事も少なくはありませんでした。そんな中で私の心の支えになってくれたのが先生や友達の実在です。問題が分からず、やる気を失った私に励ましの言葉や暗記カードを作ってくれました。また、問題に正解すると沢山褒めて貰えるので私のやる気は100%に上昇しました。

そして、1番最初にビジネス計算実務検定（電卓）の1級に合格した時の嬉しさは一生忘れません。1級を取ることに嬉しさに気づいてしまい、3年生の時に商業部に兼部として入部し、これまで以上に検定に時間を費やし三冠以上を目標に頑張ってきました。また一日で勉強する範囲を決めて取り組みました。それによって日々レベルアップしていく事が出来ました。

この検定取得を通して学んだことがあります。目標を決めること・苦手なことでも最後まで諦めずに挑戦することです。どんな目標でもいいので目標を決めてみてください。目標を決めることで何をしなければいけないのか明確に分かります。検定で、苦手な事でも挑戦したら結果に繋がった。まさに「努力は実を結ぶ」です。これから社会人となる人生の自信にも繋がりました。これまで教えて頂いた先生・友達に感謝したいです。目標を達成した時のあの気持ちを皆さんにも伝えたいです。実感して欲しいです。悔いの残らないように頑張ってください。応援しています。

・進路先：社会福祉法人福寿会 鶴来ふくまるハウス

・資格検定試験取得級（3冠）

全商ビジネス計算実務検定	（電卓）	1級
全商ビジネス計算実務検定	（珠算）	1級
全商商業経済検定		1級